

写

国大協企画第51号
平成20年6月2日

文部科学大臣
渡海紀三郎 殿

社団法人 国立大学協会
会長 小宮山 宏

教育振興基本計画について（要望）

貴職におかれては、日頃から国立大学法人について深いご理解と力強いご支援を
いただいております。厚く御礼を申し上げます。

21世紀は「知識基盤社会」であり、高等教育は、個人の資質の向上と、社会・
経済・文化の発展・振興、国際競争力の確保等の国家戦略の上で、極めて重要な役
割を果たすものであります。特に大学は、社会人や留学生など多様な学生を積極的
に受け入れつつ、教育の質を維持・向上し、学位の国際通用性を確保すること、イ
ノベーションの創出にも道を拓く高いレベルの研究を遂行することなどを求めら
れています。

大学が不断に改革に取り組むのはもちろんのこと、国においても大学の自主的な改
革を支援・推進されるよう切望します。特に、世界最高水準の教育研究環境を実現
し、政府内諸会議からの大学に対する具体的な提案を実施するため、**明確な資金投
入の目標額を教育振興基本計画に盛り込み、出来るだけ速やかに高等教育への公財
政支出をGDP比0.5%からOECD平均の1.0%を上回る規模へ拡充すべき**
であります。

以上要望申し上げます。

